

# 令和 2 年度 第 9 回理事会議事録

開催日：令和 3 年 3 月 13 日（土）

時間：10：00～12：08

場所：Zoom による Web 会議

出席：真田、松田、佐藤、竹川、狩野、大崎、安部、藤原、池本、住ノ江、井関、  
藤田、湊、菊口、千田、矢野、南、東塚監事、笠舞監事

欠席者：綿貫、澁谷、森、中町参与

理事 17 名の出席により会議は有効裡に開催された（現在の理事数 20 名）。

なお、開催前に出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることを確認している。

議事録署名人の選出：真田浩一、東塚監事、笠舞監事を選出した。

議事録作成：南

## I. 会長報告（報告者：真田会長）

### 【報告事項】

#### 1. 日臨技近畿支部関連

なし

#### 2. 兵臨技関連

- 1) 2 月 20 日（土）東播地区施設連絡者・責任者会議（Web）出席
- 2) 2 月 28 日（日）精度管理報告会（Web）出席
- 3) 3 月 4 日（木）学術部会（Web）出席
- 4) 3 月 10 日（水）神戸阪神地区施設連絡者・責任者会議（Web）出席
- 5) 3 月 13 日（土）精度管理調査検討会出席

### 【審議事項】

#### 1. 次年度の理事会開催日について

綿貫副会長が土曜日に日臨技の会議があるため、理事会の日程を日曜日に来ないか。

→継続審議とする。再度、綿貫副会長と相談し、土曜日の午後や日曜日開催も含めて日程調整する。また理事会の開催頻度についても今後検討する。

#### 2. Zoom について

ウェビナー 500 名 28 万円/年、ラージミーティング 500 名 12 万円/年、Zoom 以外でネクプロウェビナー 2,000 名 57 万円/年などの契約があるが、今後研修会などで活用するのにどの契約にするのがよいか。

→いずれも年間契約で金額が大きいので、学会など必要な時期に月間のスポット契約をするのはどうか。（竹川経理部長）

→継続審議とする。経理と学術部とで協議する。

## II. 日臨技報告

### 【報告事項】

なし

### 【審議事項】

なし

## III. 業務執行報告

（報告者：松田副会長、佐藤副会長、南事務局長、竹川経理部長）

業務執行理事による業務執行状況報告を行った。綿貫副会長は職務のため欠席。

## IV. 部局報告と審議

＜事務局＞（報告者：南事務局長）

### 【報告事項】

1. 自民党兵庫県連より、令和 3 年度兵庫県予算編成に対する要望の回答と意見交換会について  
→真田会長 Web 参加予定（3/19 16：00）
2. 兵庫県理学療法士会より昨年度延期された学術大会の後援名義使用許可について  
→昨年に理事会承認されているので、会長承認で返答済み
3. 令和 2 年度臨時総会議案書および開催案内について→HP に UP 済み（2/17）
4. 日臨技より都道府県医学検査学会・都道府県研修会の開催状況調査について  
→真田会長より回答済み
5. 日臨技より「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第 4.2 版」の周知、および「大学等と自治体が連携した地域における検査体制の整備等」について
6. 愛知県臨床検査技師会より愛知県臨床検査標準化ガイドラインに対するパブリックコメントについて
7. 日臨技より、「都道府県施設連絡責任者等へのタスクシフティング啓発推進事業研修会」の日臨技役員招聘について
8. 兵庫県健康財団より令和 3 年度「健康マイプラン実践講座」実施について、および令和 3 年度健康ひょうご 21 県民運動地域実践活動助成金事業の実施について
9. 日臨技より、1 月締め分の会費の送金、日臨技推進事業研修会、および臨床検査技師に対するタスクシフティング業務啓発事業助成金について
10. 日臨技より、「日臨技生涯教育研修制度」令和 2 年度事務処理について

11. 日臨技より、医療技術部門管理資格認定制度の受講について  
→HP に UP 済み (3/12)
12. 日臨技より、入会申込書（写し）の送付廃止について
13. 神戸常盤大学より学位記授与式および入学式について  
→卒業生・入学生および常盤大学専任教職員に限っての開催
14. 日臨技より、臨床検査技師に対するタスクシフト/シェア並びに新型コロナウイルス感染症に対する検査体制の整備状況に関する調査依頼について  
→一斉メール送信
15. 兵庫県医師会より第 19 回「JMAT」実務研修会（第 1 回避難所対応コース）開催について→一斉メール送信および 3/20 の定期発送に同封する。
16. 日臨技より、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)病原体検査の指針、および唾液検体の採取方法について
17. 日臨技より、新型コロナウイルス感染症の研究用抗原キットに係る留意事項について
18. 第 16 回兵庫県がん診療連携協議会のオンライン開催について  
→真田会長 Web 出席予定
19. 日臨技より、労働者派遣法施行令の改正について

#### 【審議事項】

1. 令和 2 年度兵臨技功労賞・学術奨励賞選考委員会開催報告  
→功労賞に山中陽子会員、学術奨励賞に丸岡隼人会員を推薦  
→承認
2. 事務員の北川さんが 3 月末で退職し 2 名体制になるため、事務所の負担減に協力をお願いしたい。  
→承認

<総務部>（報告者：池本総務部長）

#### 【報告事項】

1. 会員数（月末集計）

	会員数	会員数内訳			年会費入金内訳		
		継続	新規	兵臨技のみ	入金済 (うち送金待)	免除	未入金
令和元年度	2296						
R2 年 12 月	2350	2185	165	176	2295 (0)	28	27
R3 年 1 月	2345	2173	172	177	2285 (0)	34	26
R3 年 2 月	2348	2172	176	177	2286 (0)	36	26

	施設数			会員数		
	R2 年 12 月	R3 年 1 月	R3 年 2 月	R2 年 12 月	R3 年 1 月	R3 年 2 月
神戸地区	127	128	128	912	907	911 ↑
阪神地区	66	66	66	492	491	489 ↓
丹担地区	14	14	14	99	98	99 ↑
東播地区	50	50	50	439	438	439 ↑
西播地区	46	46	46	392	393	392 ↓
その他				16	18	18
合計	303	304	304	2350	2345	2348 ↑

#### 【審議事項】

##### 1. 入会、退会

- 1) 賛助会員入会：なし
- 2) 賛助会員退会：なし
- 3) 会員入会：12 月 5 名、1 月 9 名、2 月 3 名
- 4) 会員退会：12 月 4 名、1 月 14 名、2 月 1 名  
→承認

##### 2. 臨時総会の現地参加者について

会長、副会長など少人数での現地参加とし、理事に Web 参加を呼びかける。  
次年度からは、一般会員も Web で参加できる体制を検討する。

#### <経理部>（報告者：竹川経理部長）

#### 【報告事項】

1. 予算管理月報について 2 月末日
2. G 表について 2 月末日
3. 広告状況について 2 月末日

#### 【審議事項】

##### 1. 事務所で預かっている交通費等について

少額の振込みは現実的ではないので、事務所預かりでよいか。  
→承認。事務所に立ち寄る機会があれば受け取る。

##### 2. 会員への入会金の返却について

音信不通の会員への対応をどうするか。  
→事務所に一任、会員から連絡があり次第の返金でよいか。  
→承認

＜渉外部＞（報告者：安部渉外部長）

【報告事項】

1. コロナウイルス禍、会員施設状況把握アンケートについて
  - 1) 検査室長（検査室責任者）宛アンケート結果報告（55 施設）
  - 2) 臨床検査技師個人向けアンケート結果報告（回答数 311 名）→アンケート結果については、理事で情報を共有する。ただし部外秘とする。
2. 第 19 回 JMAT 兵庫実務研修会（第 1 回避難所コース）開催について  
3 月 14 日（日）於：兵庫県医師会館  
当会会員より 4 名の参加予定  
（参考）薬剤師受講 7 名、薬剤師会役員見学 1 名、JRAT（リハビリ系）6 名受講

【審議事項】

なし

＜組織部＞（報告者：大崎組織部長、菊口理事、井関理事）

【報告事項】

1. 令和 2 年度 東播地区施設責任者・連絡者会議（Zoom）  
令和 3 年 2 月 20 日（土）10:00～10:40  
会議録（資料 07-01），報告書（資料 07-02）
2. 第 15 回丹但地区学術組織合同研修会（Zoom）  
令和 3 年 2 月 27 日（土）13:30～15:40  
報告書（資料 07-03）
3. 令和 2 年度 第 2 回丹但地区 地区会議（Zoom）  
令和 3 年 2 月 27 日（土）16:00～17:00  
会議録（資料 07-04）

【審議事項】

1. 令和 3 年度 第 38 回西播地区研究発表会（ハイブリッド形式）  
令和 3 年 7 月 25 日（日）10:00～13:00  
事業計画書（資料 07-05）  
集会形式は感染対策を徹底した上で、参加者は収容人数の 30%で行う。  
→承認  
・組織や学術の研修会などで他府県の会員の参加に違和感を覚える。兵臨技  
会員からクレームがでるのではないかと。（住ノ江広報部長）  
→JMTIS 登録で兵庫県会員のみの参加にも設定できるが、定員に満たない  
ので他府県の会員にも参加を許可している。定員に達する場合には、個別

に対応する必要があると考える。（竹川経理部長）

→学術では日臨技助成金を受けるのに他府県の会員の参加も認めている。  
（藤原学術部長）

→100 名を超える参加者に対応するためにウェビナー契約の検討も行っている。次年度の県学会に向けても検討の必要がある。（真田会長）

## 2. 第 41 回丹但地区研究発表会

令和 3 年 6 月 27 日（日）10:00～12:00

事業計画書（資料 07-07）

集会形式と Web 形式のハイブリッド形式で行う。

→承認

- ・費用のことなどを考慮すると集会形式か Web 形式が望ましいが、西播・丹但地区の研修会をモデルケースとしてハイブリッド形式で行い、問題点を洗い出し今後の方向性を決めていく。（真田会長）

- ・オンデマンド配信についてはメリットもあるが、個人情報の取扱いに関しては十分配慮が必要であるので慎重に行うべき。（松田副会長・大崎組織部長）

→個人情報の取扱いに関しての研修会をしてはどうか（大崎組織部長・安部渉外部長）

→学術部と組織部を中心に個人情報の取扱いに関して兵臨技として検討する必要がある。（真田会長）

- ・Web 研修会での個人情報の取扱いに関しては十分配慮していただくように発表者にアナウンスする。可能な限り、事前に役員で内容をチェックする。（大崎組織部長）

- ・本来であれば、受益者負担の原則で研修会の参加費を徴集すべきなので、次年度中には参加費の徴収方法を決める必要がある。（松田副会長）

→会長・三役に一任。後日報告する。

## 3. 功労賞・学術奨励賞選考審査委員会委員について（神戸地区）

簗輪会員の後任について

→松田副会長に候補者を挙げてもらう。

## <広報部>（報告者：住ノ江広報部長）

### 【報告事項】

#### 1. ホームページ（HP）への新規および更新掲載

- ・お知らせ（トップページの作成、追加）
- ・研究班のページ修正
- ・お知らせの掲載
- ・会員施設の修正の補助

など

2. 広報会議

・開催なし

3. HP 作業時間

住ノ江：3 時間

新田：3 時間

渡邊：1 時間

4. HYOGO ニュースの広告掲載について

来年度の HYOGO ニュース広告は既に埋まっており、今後は HP バナー広告（3 万円/年）を進める。現在、シーメンスからの依頼は、HP のバナー広告を勧めている。

5. 行事予定表の紙媒体での配布希望者について

現在の配布希望施設は、1 施設（明石市民病院）であったが、確認したところ不要となった。よって 4 月号以降の行事予定の紙媒体での配布は行わず、今後の会員の希望により対応を考慮する。HYOGO ニュースには、行事予定表の QR コードを印刷し、リアルタイムな情報にアクセス出来るようにしている。

【審議事項】

1. HYOGO ニュースへの求人広告の掲載について

HP での求人運用が適切に行われており、HYOGO ニュース（希望の方のみ）での掲載を不要としたい。HP 掲載 14 件（2/9～3/10）

→承認

→当面は、行事予定表や HYOGO ニュースの運用変更点についての案内を定期発送に入れ、会員に啓蒙する。（真田会長）

< 学術部 >（報告者：藤原学術部長、真田会長）

【報告事項】

1. 第 9 回学術部会（Web 形式）開催

今年度の研修会開催内容について話し合いを行い、問題点や開催時に気が付いた内容、次年度に向けた企画や開催方法などについて方向性を決めた。

2. 学術奨励賞と兵庫県健康財団会長表彰候補者について

学術奨励賞は丸岡班長、兵庫県健康財団会長表彰には山本剛会員を推薦する。学術奨励賞については 3 月 9 日の選考委員会で承認済み。

兵庫県健康財団会長表彰については書類を 3 月 10 日に提出した。

【審議事項】

1. 毎月の行事予定表が発行されなくなることで、HP を見る以外に方法がなく、

うまく伝わらない可能性があるのではないかと。

- ・ 学術の研修会の予定については、毎月 20 日頃に送信する技師会の案内とは別に、毎月初めに送信する方向で次年度実施してみたいがどうか。

→承認

→メールの件名に“学術の研修会”と分かりやすく表示してもらおう。(真田 会長)

2. 学術奨励賞の選考について、客観的評価のためには学会発表や論文、著書などをまとめた書類の提出が必要ではないかと。

→履歴書だけでなく、決まった形式の学術業績一覧を添付してもらうことで承認された。

### <精度管理事業部> (報告者：狩野精度管理事業部長)

#### 【報告事項】

1. 令和 2 年度 (第 40 回) 兵臨技精度管理調査について

- 1) 精度管理解析集は兵臨技事務所に 150 部、医師会に 30 部納品され、参加施設に発送した。(R3.2.26)

- 2) JAMTQC の施設評価書は 3 月 1 日、統括評価表は 3 月 5 日に開示した。

- 3) 兵臨技 HP に解析集の簡易版、2 月 28 日開催の精度管理合同報告会の資料を掲載した。

- 4) 令和 2 年度の精度管理調査の結果概要：表参照

C 評価総件数：令和元年：278 件⇒令和 2 年は 161 件

C 評価の平均比率：令和 1.62%⇒1.40%

令和 2 年度は令和元年度に比べ C 評価の件数が減少したが、血液ガスと微生物フォトで C 評価が増加した。

分野	C評価比率 (%)		C評価件数	
	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年
①：臨床化学 (WET)	0.92	0.35	72	28
①：臨床化学 (DRY)	4.07	2.05	31	13
②：ヘモグロビンA1c	1.76	1.69	3	3
③：血液ガス検査	1.49	1.73	10	12
④：免疫血清	0.46	0.23	4	2
⑤：血球計数検査	2.39	2.33	14	14
⑥：血液像検査	3.24	1.37	22	13
⑦：凝固検査	1.42	0.27	5	1
⑧：便潜血検査	0	0	0	0
⑨：尿沈渣検査	3.28	2.67	20	17
⑩：微生物検査	0.61	0	3	0
⑪：微生物塗沫鏡検	0.62	4.85	1	8
⑫：輸血検査	0.48	0.32	12	6
⑬：病理組織	0	0	0	0
⑭：免疫組織化学染色	0	0	0	0
⑮：細胞診	0.51	0.54	2	2
⑯：生理機能検査	6.21	5.4	79	42
<b>C評価平均比率/C評価総件数</b>	<b>1.62</b>	<b>1.40</b>	<b>278</b>	<b>161</b>
フォトは不正解数				



5) サポート対応状況

対応総件数 73 件、是正完了 70 件、是正対応中 2 件（化学）、対応継続が必要 1 件（輸血）

【審議事項】

なし

＜公益事業部＞（報告者：澁谷公益事業部長）

【報告事項】

なし

【審議事項】

なし

●次回理事会

令和 3 年度 第 1 回理事会（Web 開催） 日程調整して、後日報告する。




●令和 2 年度 臨時総会

令和 3 年 3 月 20 日（土）13：00～

●令和 3 年度 定時総会

令和 3 年 6 月 12 日（土）

この議事録が正確であることを証するため、議長並びに議事録署名人が署名捺印する。

議	長	<u>真田 浩一</u>	
議事録署名人		<u>東塚 伸一</u>	
議事録署名人		<u>立野 和良</u>	

## 令和 2 年度 第 9 回 理 事 会 資 料

資料 07-01①

R3.2.20

### 令和 2 年度 東播地区施設責任者・連絡者会議議事録

出席理事：真田会長、佐藤副会長、森(組織：東播地区担当) ※南事務局長(施設代表として)

参加施設：市立加西病院、北播磨総合医療センター、兵庫あおの病院、加東市民病院、市立西脇病院  
明石市立市民病院、大西脳神経外科病院、高砂西部病院、高砂市民病院、甲南加古川病院  
県立加古川医療センター、加古川中央市民病院

(記載はサマリー形式で箇条書きとする)

#### 1. 日臨技関連

##### 1) 第 70 回日本医学検査学会(福岡)

- 最終的に Web 開催の方針となった。Web で発表・聴講できるため参加をお願いしたい。

##### 2) PCR 基礎研修会

- コロナ禍により Web を利用した研修会が主体となってきた。
- Web にて基礎講習を受講した後は、各都道府県の技師会で実技講習を実施している。兵庫県は既に 2 回実施しており、それ以降は要望がないため開催していない。
- 少人数での研修会は可能であるため、要望があれば 3 回、4 回と実施していく。

##### 3) 検体採取基礎研修会 → 日臨技 HP から Web 受講可能

- 検体採取は本来であれば厚労省の指定講習を受講しなければ実施できないが、未受講の技師は Web で基礎研修を受講し、各施設で内部(実技)講習を行えば新型コロナウイルスについては採取可能となる。※所属長が修了証を発行する
- 施設から要望があった場合は上記を活用し参画も可能である。

##### 4) タスクシフティング等の医療勤務環境改善推進事業

- Web 講義が受講できるようになっている。現在までの経緯やお手本事例として 4 病院が紹介されている。※下部の『4.その他 タスクシフティングの対応状況』を参照

##### 5) 臨地実習指導者講習会

- 臨地実習の単位が増え、実習を依頼する側(臨地実習調整者)、受け入れる側(臨地実習指導者)を配置するようになる。日臨技は臨地実習指導者講習を開催していく予定である。

#### 2. 日臨技近畿支部関連

##### 1) 第 60 回近畿医学検査学会(令和 3 年)

- 令和 2 年度は福井県が担当であったが、コロナ禍のため中止となった。
- 令和 3 年度も引き続き福井県が担当することを表明された。

##### 2) 第 61 回近畿医学検査学会(令和 4 年)

- 兵庫県が担当するが、同年度に大阪で第 71 回日本医学検査学会を開催予定である。
- 詳細な運営方針については決定次第お知らせする。

#### 3. 兵庫技関連

##### 1) 兵庫県医学検査学会(令和 3 年)

- コロナ禍のため中止を決定した。次年度の開催については検討中である。

2) Web 会議ツールを活用した活動へ

- コロナ禍で集会できない状況から各部局の活動を展開したいと考え、Web 会議ツールの ZOOM を利用するようにした。
- ライセンスを 1 つ購入し、各担当が試行錯誤しながら活動を行っているところである。

3) 各部局の状況

- 事務局：毎月の理事会を Web 会議へ移行した。
- 学術部：研修会の Web 開催を実施。
- 精度管理事業部：2/28 オンライン報告会(兵臨技)、3/13 精度管理調査報告会(医師会館)
  - 精度保証施設認証施設の更新はどちらかに参加し、日臨技 HP より証明書を出力することで認証される。
- 渉外部：コロナに関するオンラインアンケート実施中(各施設長と一般会員)
- 広報部：HP をリニューアルした
  - 行事予定表を強化し、急な変更も Web で確認できるように対応した。
- Web 活用を充実し、会報誌 HYOGO ニュースの隔月発行化とカラー化を行った。

4. その他(質疑応答)

1) 精度保証施設認証制度は取得しないといけないのか？

- 必ずしも必須ではないが、精度管理を適切に行っているという証明となるため、多くの施設が取得されることが望まれる。取得には費用(5 万円)が掛かり、有効期間は 2 年間である。
- 評価が悪い項目があったとしても、是正処置を行った証明を行えば問題ない。
- 現在は努力義務程度であるが、義務化を見据えた場合、参加施設が増え、現行の管理体制でも問題ないと国が判断できるようになれば、より精度保証施設認証制度の価値が高まると思われる。

2) 新型コロナウイルスについて

- 精度管理の方法は？
  - 遺伝子検査において内部精度管理は義務付けられているが、外部精度管理は義務から外れている。しっかりと内部精度管理を行えば問題ないと思われる。
  - 施設間で同一検体を測定してみるのも手段としてあるが、メーカーが出荷時に測定した値を入手し、自施設での値と比較するのも一つである(逆も考えられる)。また、高額ではあるが CAP サーベイにも項目が追加されたので、参加してみるのも一つだと考える。
- 臨床検査技師としての対応について
  - PCR は重要な検査であるが、これだけで決定されるものではない。特異度は 100% 近いが感度は 70% 程度であるため、医師の総合的な判断が必要となる。測定機器によっても通常とは違う認証で出回っており、捉える部位も測定方法も違っている。また、採取方法や時期によっても判定が変わることもある。陰性の場合には、こういった点も踏まえた臨床へのアドバイスが臨床検査技師の有用性が示されるポイントとなる。
- LAMP 法で疑陽性時の各施設の対応は？
  - 他の方法でも検査してみる。
  - 操作時の温度に起因していることもあり、抽出溶液を冷蔵するなど対策を取っている。
  - 検体を採り直しすることもある。(血液や胃液(吐物)の混入)

- 核酸検査を実施しているか？
  - 10 施設/12 施設
- 24 時間(救急)対応は行っているのか？
  - 5 施設/12 施設
  - 抗原検査は対応しているが、核酸検査は医師が現場で対応している施設あり。
- 検体採取を臨床検査技師が関わっているか？
  - 3 施設/12 施設
  - 人的要因が強く、行っている施設でも棲み分けしている状況もある。  
※入院時、接触者外来、病棟、医師会依頼など

### 3) IFCC 試薬の対応状況

- メーカー情報では切替え済み：40%、4 月より切替え：40%、時期未定：20%の状況。
- 学会主導で動いており、兵臨技としても推奨の案内を間もなく出す予定。
- 導入施設で変更への対応内容はどのようにしたのか？
  - 切り替え時期を会議の中で説明したうえで、旧法と新法を一定期間は同時測定した。
  - IFCC 値をもとに LIS にて JCCLS の換算値を一定期間は併記することとした。
  - 上記対応施設では導入時に混乱は起きていないが、IFCC 値のみになったときに問合せがあるのではと考えられる。

### 4) タスクシフティングの対応状況は？

- タスクシフティング背景については別添資料を参照
- 臨床工学技士と臨床検査技師は領域が重なる部分が多い。臨床工学技士はフットワークが軽いため、院内でも求められた時に柔軟に対応している職種であるのに対し、臨床検査技師は現場へ出ていくことが少なく他職種とコミュニケーションが取り難い職種である。これにより業務拡大が後手に回る恐れがある。
- マンパワー不足を解消するため、機器更新時に省力化を目指したり、外注検査を利用したりしてタスクシフティングに繋げるという考え方もある。施設の状況によって大きな投資が難しいこともあり、取り組めるところから始められれば良いと思う。
- 次世代の臨床検査技師の働く場所を作るためには今から取り組む必要がある。今がスタートではあるが、国が求めるゴールは 2040 年あたり(団塊の第 2 世代が老後を迎える時期)となる。徐々にでも始めていく。

### 5) 令和 2 年度臨時総会について(追記)

- 3 月 20 日に開催する。
- コロナ感染拡大防止の観点から、当日参加は極力避け委任状 or 議決権行使書での参加をお願いする。



## 事業報告書

事業部局・責任者	組織部 大崎 博之
事業名	令和2年度事業決算書
企画担当者	森 雅彦
運営責任者	森 雅彦
開催日時	令和 3 年 2 月 20 日 10 時 00 分～ 11 時 30 分
開催場所	ZOOMによるWEB開催
内容 プログラム テーマ 講師 司会者等 座長	報告事項 1) 日臨技関連 2) 日臨技近畿支部関連 3) 兵臨技関連 4) その他 森 雅彦(東播地区理事) 真田浩一(会長)
参加者数	15名(会員施設責任者:12名、理事:3名)
実務委員	1名(森)
運営状況・感想 意見	今年度はコロナ禍のためWEB開催とした。各施設(参加者)の環境にも依存するが例年と同程度の参加数となった。 WEBを使用するにあたり、トラブルもなく開催できた。参加者の慣れもあるため、発言する方が限られる印象もあった。今後、サロン形式でZOOM使用研修が行えればと思う。 今回、特に各施設でのコロナ関連検査の対応状況やIFCC試薬への移行状況などが話題となった。 タスクシフティングについても話題に触れたが、経緯を会長からお話しいただき修了となった。

報告年月日 : 令和3年 2月23日

報告者・役氏名:

東播地区理事:森 雅彦

## 事業報告書

事業部局・責任者	組織部 大崎 博之
事業名	第15回丹但地区学術組織合同研修会
企画担当者	井関 進也
運営責任者	大崎 博之
開催日時	令和 3年 2月 27日 午後1時30分～午後3時40分
開催場所	ZoomによるWeb開催
内容 プログラム テーマ 講師 司会者等	<p>I 部 「新型コロナウイルス感染症の現状」 講師 坂井 礼 (シスメックス株式会社 大阪支店 学術サポート課)</p> <p>II 部 「不整脈を中心に一から心電図を学ぶ」 講師 山本 義徳 (北播磨総合医療センター 中央検査室)</p>
参加者数	55名
実務委員	西本、加藤、吉野、上月、岡坂、白簪、井本、井関
運営状況・感想 意見	<p>今回の研修会はCOVID-19の感染状況を鑑み、丹但地区では初めてのZoomを用いた完全Web開催となった。</p> <p>I 部ではシスメックス株式会社の酒井先生に、検査技師として知っておくべき新型コロナウイルス感染症の現状について最新の話題を含めご講演頂いた。</p> <p>II 部では北播磨総合医療センターの山本先生に、心電図における不整脈の読み方・考え方を分かりやすくご講演頂いた。</p> <p>Web開催となったことで丹但地区以外からの参加者も多く、例年に比べ全体的な参加者数も多かった。</p> <p>今後の研修会は、Web開催や現地開催のWeb併用などが主流になっていくと思われ、運営サイドとしても慣れていく必要がある。</p>

報告年月日：令和 3年 3月 8日

報告者・役氏名：

組織部理事 井関 進也

## 令和2年度 部会・班会議 開催報告書

会議名	令和2年度 第2回丹但地区 地区会議		
日時	令和3年2月27日 16時00分～17時00分（丹但地区研修会終了後）		
場所	Zoomを使用したWeb開催		
出席者	西本（丹波医療センター）、加藤（豊岡病院）、上月（豊岡病院） 吉野（八鹿病院）、岡坂（朝来医療センター）、白簀（日高医療センター） 井本（出石医療センター）、井関（朝来医療センター）		
欠席者	なし		
議長	井関	書記	井関

議事録（記載はサマリー形式で箇条書きとする）

### 1. 令和3年度 第41回丹但地区研究発表会について

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、例年同日に開催している市民公開講座は中止、施設責任者・連絡者会議は別日に改めて行う。

#### (1) 開催日時

**令和3年6月27日（日） 10:00～12:00**

#### (2) 担当病院

なし（実行委員のみ）

#### (3) 内容

一般演題のみ

#### (4) 一般演題について

施設ごとに演題数を割り当てる。（可能なら10演題を目指す。）

演題数が少ない場合には、賛助会員にも働きかける。

演題締め切り **5月14日（金）**、抄録締め切り **6月16日（水）**

研修会案内3月理事会承認後、定期発送（定期送信）

座長は各分野ごとに演題申込み施設と重ならないよう考慮して選出する。

#### (5) 開催方法

（以下3パターンで検討）

①人数規制または広い会場で従来通り開催（朝来医療センター）

②会場とZoomの併用（朝来医療センター）

発表者、司会者、スタッフ、発表者のオブザーバーのみ会場参加

③Zoomのみで開催

#### (6) 会費

無料？理事会で審議して頂く。

報告年月日：令和3年3月8日

報告者・役氏名：

地区理事 井関 進也



## 令和 3 年度 事業計画(案)

令和 3 年 3 月 8 日

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
会 長 真田 浩一 様

担当役職名:組織部理事(西播地区)

担当者氏名: 菊口 圭介

下記のとおり令和 3 年度事業計画案を提出いたします。

### 記

令和 3 年度 第 38 回西播地区研究発表会

日 時 令和 3 年 7 月 25 日(日) 10:00～13:00(予定)

場 所 太子町立 あすかホール 1F 中ホール  
現地開催と ZOOM によるハイブリッド形式

内 容 一般演題

## 令和 3 年度 事業計画(案)

令和 3 年 3 月 8 日

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会

会 長 真 田 浩 一 様

担当役職名:組織部理事(丹但地区)

担当者氏名:井関進也

下記のとおり令和 3 年度事業計画案を提出いたします。

### 記

事 業 名 第 41 回丹但地区研究発表会

日 時 令和 3 年 6 月 27 日(日曜日) 10:00～12:00

開催方法 会場開催と Zoom による Web 開催の併用

場 所 公立豊岡病院組合立 朝来医療センター 4F 会議室  
〒669-5267  
兵庫県朝来市和田山町法興寺 392 番地  
TEL 079-672-3999

内 容	9 時 30 分 ～	受付 (会場開催のみ)
	9 時 55 分 ～	オリエンテーション
	10 時 00 分 ～ 12 時 00 分	研究発表